



福井県立大学大学院

CAMPUS GUIDE 2027

経済・経営学研究科

Graduate School of Economics and Business Administration



経済・経営学研究科

Graduate School of Economics and Business Administration



地域・国際経済政策専攻

Major in Regional and International Economic Policy

博士前期課程 2年

経済学に基づき、地域公共政策、国際経済の研究を行います。修士論文、またはプロジェクト研究に取り組み、修士（経済学）の学位を取得できます。

経営学専攻（ビジネススクール）

Major in Business Administration

博士前期課程 2年

経営学・会計学に基づき、企業経営・管理の研究を行います。修士論文、またはプロジェクト研究に取り組み、修士（経営学）の学位を取得できます。

経済研究専攻

Major in Economic Research

博士後期課程 3年

理論と政策を一体化させた高度な学術研究を行います。博士論文を執筆し、博士（経済学）の学位を取得できます。



多様な仲間が集い、 刺激を与え合う環境



経済・経営学研究科長/
博士(エネルギー科学)
藤野 秀則

社会の構造がますます多様化・複雑化する今日、大学院への進学は文理を問わず世界的に一般化しつつあり、キャリアアップや新たな飛躍のための重要な選択肢となっています。

大学院で取り組む「研究」は、単なる「勉強」とは異なり、自ら問いを立て、新たな知を生み出す創造的な営みです。決して容易な活動ではありませんが、苦悩の中で思考を深めることで、社会をより高い視座から捉え、本質的な解決策を導く力が養われます。

本研究科では、教員との距離が非常に近く、きめ細やかな指導が受けられる体制が整っており、こうした環境の下でその道のりを着実に歩むことができます。

また、現役の社会人や留学生、学部からの進学者、退職後に知的探求を志す方など、多様な背景を持つ学生が在籍しており、日々の学びは豊かな知的刺激に満ちています。さらに、社会人の方の学びを支援する制度も充実しています。

ぜひ本研究科で、自らの問いと向き合い、新たな知の創出に挑戦してください。

経済・経営学研究科の特長

**1 地域の企業・自治体で働く
社会人のためのカリキュラム**
地域の需要にあわせた実践的な科目が充実

2 社会人が学びやすい時間割
夜間・土日開講科目多数

3 ワークショップ科目
企業経営者や官公庁政策責任者等を
ゲストスピーカーに招いてのケーススタディ

4 きめ細やかな指導
ゼミナールによる少人数教育

5 学問の理論的基礎を重視
経済学、経営学の理論に関する科目も充実

経済・経営学研究科の教育方針

基礎理論を基盤としたアカデミックな素養を持つ
**アカデミア・ビジネスパーソン・
留学生の育成**

特定の分野に偏らない横断的学修による
複眼的・多角的視角の涵養

地域との連携による社会実装的教育の積極的展開を通じた
理論と実践との高次元での融合

統計的データ分析および会計・財務教育の強化による
**EBPM/EBDM※のできる
中核的マネジメント人材の育成**
※ evidence based policy making / Evidence based decision Making



経済学・経営学理論に基づき実践への応用能力を高める教育を通じて
**福井を支える人材および
グローバル展開を促進する人材を輩出**

こんな期待に応えます

- 研究者を目指したい。
- 税理士などの専門職を目指したい。
- 政策形成能力を身に付けた自治体職員になりたい。
- キャリア・アップを図りたい。
- 何が正しい経済政策かを判断できるようになりたい。
- 現場の問題発見・問題解決能力を高めたい。
- 経済と社会について深い知識を身に付けた教員になりたい。
- キャリアをふまえた研究をしてみたい。
- 技術者としての経営能力を向上させたい。
- 定年退職を機にじっくりと体系的に学び直したい。

カリキュラム

[博士前期課程]

地域・国際経済政策専攻

区分	科目
経済学基礎	経済理論 経済政策特論Ⅰ 経済政策特論Ⅱ 財政学特論 統計・計量 日本経済史特論
地域公共政策	地域経済特論 海洋情報科学・社会科学特論Ⅱ 食料・農業政策 証券市場特論 ワークショップ（地方行政論） ワークショップ（地域開発）
国際経済	国際経済特論 中国経済特論
特別講義	経済・経営学特別講義Ⅰ 経済・経営学特別講義Ⅱ
専攻演習	専攻演習 1・2・3・4 経済理論 専攻演習 1・2・3・4 経済政策特論 専攻演習 1・2・3・4 財政学特論 専攻演習 1・2・3・4 日本経済史特論 専攻演習 1・2・3・4 計量経済学 専攻演習 1・2・3・4 地域資源論 専攻演習 1・2・3・4 地域マネジメント特論 専攻演習 1・2・3・4 食料・農業政策 専攻演習 1・2・3・4 証券市場特論 専攻演習 1・2・3・4 国際経済特論 専攻演習 1・2・3・4 中国経済特論 *修士論文を作成する上で、主査となる指導教員の専攻演習を履修する。 また、必要に応じて副査となる指導教員の専攻演習を履修する。

[博士前期課程]

経営学専攻

区分	科目
マネジメント	現代経営学 経営財務戦略論 経営情報特論 生産管理・生産革新論 実践コンサルティング論 競争戦略特論 企業経営のためのケース分析 現代企業論 経営品質論 マーケティング戦略論 人的資源管理特論 ワークショップ（ベンチャー企業・起業（創業）論）
企業会計・法務	会計学特論 管理会計特論 企業の財務報告・監査 財務報告の理論と実証 ビジネス法務 税法特論Ⅰ 税法特論Ⅱ 会計制度論
国際経営	国際ビジネス論 国際比較経営論
特別講義	経済・経営学特別講義Ⅰ 経済・経営学特別講義Ⅱ
専攻演習	専攻演習 1・2・3・4 経営情報特論 専攻演習 1・2・3・4 生産管理・生産革新論 専攻演習 1・2・3・4 競争戦略論 専攻演習 1・2・3・4 マーケティング戦略論 専攻演習 1・2・3・4 地域資源論 専攻演習 1・2・3・4 地域マネジメント特論 専攻演習 1・2・3・4 会計学特論 専攻演習 1・2・3・4 税法特論 *修士論文を作成する上で、主査となる指導教員の専攻演習を履修する。 また、必要に応じて副査となる指導教員の専攻演習を履修する。

前期課程の両専攻とも看護福祉学研究科 社会福祉学専攻の下記授業科目を履修可能です。

社会福祉	社会福祉管理・経営特論	社会調査特論

[博士後期課程]

経済研究専攻

研究分野

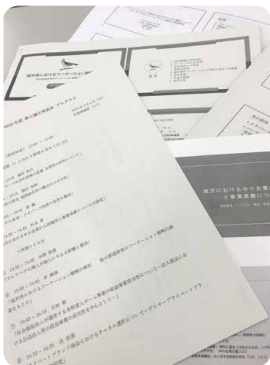
応用経済学研究	応用（マクロ・ミクロ）経済学特別演習	経営管理研究	現代経営学特別演習 経営情報・安全管理論特別演習 生産管理・生産革新論特別演習
地域経営研究	財政学・地方財政論特別演習 食料・農業政策論特別演習 地域経済論特別演習 地域マネジメント特論特別演習	国際経済研究	国際経済特別演習

※2026年度カリキュラム。科目は変更となる場合があります。

※年によって開講されない科目があります。

指導教員

地域・国際経済 政策専攻	教授 加藤 健太郎 中国経済特論 中国の経済成長および日中経済関係に関する研究	教授 桑原 美香 財政学特論 公共施設の維持補修、管理運営に関する実証的研究	教授 清水 葉子 証券市場特論 証券市場の制度と国際比較、金融機能の効率性や公正性についての研究	教授 杉山 泰之 国際経済特論 国際貿易や企業の海外進出と環境問題の関連性についての研究
	教授 廣瀬 弘毅 経済理論 経済理論の持つ規範的側面と方法論的基礎付けについての研究	教授 堀田 学 食料・農業政策、地域産業論 農産物の生産・流通と地域活性化についての研究	教授 渡邊 敏生 経済政策特論演習 資金調達と投資決定に関する理論及び実証研究	准教授 池本 裕行 日本経済史特論 近世日本における地主制や死亡構造に関する実証的研究
経営学専攻	研究科長 教授 藤野 秀則 経営情報特論 産業システムの安全管理や安全文化に関する研究	教授 石丸 香苗 地域資源論演習 (両専攻で受講可) 森林を中心とした自然資源と人の暮らしの関係についての研究	教授 北島 啓嗣 マーケティング戦略論 SCなど外部経営資源を利用する企業の競争優位の研究	教授 木野 龍太郎 生産管理・生産革新論 企業間分業を通じたモノづくりの技術蓄積・発展に関する研究
	教授 木下 和久 管理会計特論演習 新製品の企画・設計・開発段階における原価企画に関する研究	教授 杉山 友城 地域マネジメント特論演習 (両専攻で受講可) 地域の産業や企業の生成・発展・持続に関する研究	教授 早川 貴 競争戦略論 制度的・技術的環境変化に対する企業の適応・競争戦略の作用に関する研究	教授 村松 洋介 税法特論Ⅰ・Ⅱ 租税法全般、特に、憲法、行政法、社会保障法に関連する分野の研究



短期ビジネス講座を開催しています

地元にあるビジネススクールのエッセンスを体験しませんか。時間がとれない方には「短期ビジネス講座」がおすすめです。土曜日全4回程度の集中開催です。

現代の社会は変化が激しく、知識や考え方をアップデートしていくことが求められています。この講座では、本学教員をはじめとして各界の第一人者がケース・スタディやディスカッションを交えながら、マネジメントの現場と理論を融合させた講義を行います。異業種・異世代の履修者と一緒に学び直しや「社会人脈」のきっかけづくりをしてみませんか。



在学生インタビュー



地域・国際経済政策専攻 高金磊 さん

日中老舗企業の比較を通じて、戦略や組織の強みが、企業の持続性にどのような影響を与えるのかについて研究しています。

中国の大学で財務管理を学んでいたときから、日本企業の経営に関心がありましたが、大学卒業後、中国企業で働いたことで、本格的に日本で経営学を学びたいと強く思いました。これが、日本留学の出発点です。

そして、東京の日本語学校在籍中に、福井県立大学の進学説明会で先生方とお話する機会があり、ここでの丁寧で温かい対応が「ここなら安心して研究に打ち込める」と私を確信させ、進学を決めました。

教員との距離が近く、一人ひとりをしっかり支えてくれるところが、魅力のひとつ。自然に囲まれ、静かなキャンパス内には、各種文献が揃った図書館もあります。

研究環境だけでなく、就職支援も非常に充実しており、留学生でも安心して将来を考えられます。じっくり、深く学びたい・研究したい・将来のことを考えたい方に、福井県立大学大学院をおすすめします。

入学理由としては、税理士試験の2科目免除が一番大きな理由です。

今は税法ゼミに所属して、様々な判例や学説に触れながら、日本の租税法の様々な論点や時代によって変遷する解釈論などについて仲間と議論を交えながら学んでいます。

大学院へ入学してよかった点は2つあります。1つは職場と家の往復だけでは出会えない人々との交流ができることです。皆さん国籍も、職業も様々で、ともに講義を受ける中でたくさんの興味深いお話を伺うことができ、大変刺激的な毎日を送らせていただいています。また、2つ目は、特に税法ゼミでの訓練です。判決文を読み、その上で学説やほかの判例を理解した上で、自分の考えを整理しまとめるという訓練をしています。まだ未熟で、先生のご指導やゼミの仲間の指摘で初めて気づく点も多いですが、入学しないと得られないであろう、租税法の世界に浸るといふ貴重な経験に日々感謝しています。今後も訓練を重ねて、修士論文作成に生かせたらと思っています。



地方公務員
経営学専攻 笹井 祐里 さん

2週間の時間割モデル (社会人学生の履修例)

■ 地域・国際経済政策専攻
■ 経営学専攻

曜日	1限 (9:00~10:30)	2限 (10:40~12:10)	3限 (13:00~14:30)	4限 (14:40~16:10)	5限 (16:20~17:50)	6限 (18:00~19:30)	7限 (19:40~21:00)
日				経済政策特論Ⅰ			
月						ワークショップ(地方行政論)	
火						証券市場特論	
水						生産管理・生産革新論	
木						財政学特論	
金						現代企業論	
土	統計・計量						
日			競争戦略特論				
月						経営情報特論	
火						マーケティング戦略論	
水							
木				日本経済史特論		会計学特論	
金						経済理論	
土	税法特論Ⅰ		国際比較経営論				

※時間割は年度によって変更や開講されない科目があります。

※講義は2時限連続・隔週開講です。

※講義は前期・後期で変わります。通常時間割とは別に集中講義等もあります。

※経済・経営学研究科の所属する専攻以外の専門科目も履修可能です。

※その他に専攻演習があります。



行政書士

経済研究専攻

恩地 宏彰 さん

社会人大学院生として二足のわらじを履きながら博士後期課程に所属し、博士論文の執筆に向けて研究を続けています。主テーマは「福井県内の対内直接投資が地場産業にどのような影響を与えるか」です。実は修士課程は県外で修めたのですが、研究テーマの親和性から県立大の博士課程の進学を決意しました。博士課程での研究活動は、指導教授からのご指導を仰ぎながら、学会に所属し発表や学会誌への査読付き論文の投稿等を通じて、学外の先生方からもアドバイスをもらえることができるという魅力があると感じています。

大学院に進学した当初は、博士を目指す予定はありませんでした。しかしながら、研究継続の希望が次第に芽生え、修士課程修了後すぐに博士課程に進むこととなりました。自分の研究テーマを追求したい方は、是非熱いうちに大学院のドアを開けてみてはいかがでしょうか。仕事と研究活動の両立は可能だと思います。

修了生インタビュー

私は兵庫県出身ですが、ご縁があって福井県のITベンチャーに勤めています。経営全般および新規事業に携わる中で、ベンチャー特有の“スピード感”を日々実感してきました。それは単に仕事が速いということではなく、営業・企画・調整といった複数業務を同時に進めつつ、判断と実行を並行して求められるということです。こうした経験は大きな財産である一方、自身の判断や取り組みを理論的に説明できないことに課題を感じるようになりました。そこで、経営を体系的に学び直したいと考え、大学院進学を決意しました。在学中は、経営学や組織論、ネットワーク理論を中心に学び、日々の業務で起きている出来事を理論的フレームワークで言語化してきました。また、ゼミでは組織や事業に生じる構造的な空隙について研究し、実務をより俯瞰的かつ再現性のある形で捉えられるようになりました。本学は、理論と実務を往復しながら学べる点が大きな魅力です。現場で違和感や課題意識を持ち、立ち止まって考えたいと感じている方にとって、実践的で価値のある学びの場になるはずです。



株式会社フィッシュバス

経営学専攻 修了

中谷 優基 さん

Q&A

経済・経営学研究科に寄せられる、よくある質問をご紹介します。

Q 長期履修制度とはどのような制度ですか？

A 博士前期課程では、2年分の授業料で3年または4年かけて履修ができ、博士後期課程では、3年分の授業料で4年、5年または6年かけて履修ができます。主に働いている方や家事・育児・介護等に就いている方が対象となります。

Q 社会人なので平日は仕事です。両立はできますか？

A 本研究科では、平日は夜間【6限・7限(18:00～21:10)】、土日は1～4限(9:00～16:10)を中心に開講しており、社会人学生でも働きながら学位を取得できます。時間割体系は時間割モデルをご参照ください。

Q 税理士試験を受験予定です。税理士試験の税法科目の免除制度に該当しますか？

A 本研究科の博士前期課程・経営学専攻において修士の学位を取得することで、税理士試験の税法2科目免除を受けることが可能になります。ただし、その学位取得における研究論文が、税法に属する科目に関するものとして国税審議会の認定を受ける必要があります。

Q 大学院受験を考えていますが、教員に相談することはできますか？

A 入試(第1次募集、第2次募集)の出願期間の前に2週間の入試ガイダンス期間が設けられていますので、ガイダンス担当教員より、カリキュラム、時間割、入試に関する説明があり、相談することができます。また、入試ガイダンス期間中には、その期間に開講されている講義を見学することもできます。

支援制度

長期履修制度

博士前期課程 / 博士後期課程

職業を有している等の事情により、2年（後期課程は3年）では履修が困難な場合、2年（同3年）分の授業料で3年または4年（同4年、5年または6年）かけて履修することができます。

ティーチング・アシスタント

博士前期課程

学部の講義や演習等において、教育補助業務を行う院生に対して報償費を支給します。

フィールドワーク研修旅費助成

博士前期課程

授業の一環として、実地調査、情報収集等の研究活動を行う場合において、その研修に要する旅費を助成します。

教育訓練給付制度

博士前期課程

一定の条件（雇用保険上）を満たし修了した院生に対し、授業料等の2割（上限10万円）に相当する額をハローワークから支給する教育訓練給付制度の講座に指定されています。

※令和8年4月現在、指定を受けています。ただし、今後変更が生じる場合があります。

リサーチ・アシスタント

博士後期課程

教員が行う研究プロジェクト等において、研究補助業務を行う院生に対して報償費を支給します。

学会参加旅費助成

博士後期課程

研究領域の最新情報の把握と自らの研究成果発表を行う場合において、その学会参加に要する旅費を助成します。

入学試験概要

[募集人員]

研究科	課程	専攻	入学定員	学内推薦	一般	社会人	外国人留学生
経済・経営学研究科	博士前期	地域・国際経済政策専攻	12名	6名程度		6名程度	若干名
		経営学専攻	12名	4名程度		8名程度	若干名
	博士後期	経済研究専攻	4名	—		4名	

[試験科目]

研究科	課程	募集区分	外国語	専門科目	口述試験	小論文
経済・経営学研究科	博士前期	学内推薦			○	○※2
		一般	○※1	○	○	
		社会人			○	○※2
		外国人留学生			○	○※2
	博士後期		○※1		○	

※1…英語 ※2…事前提出

試験日程

[第1次募集]

出願期間	令和8年7月24日(金)～7月31日(金)
試験日	令和8年8月30日(日)
合格発表	令和8年9月7日(月)

[第2次募集]

出願期間	令和8年12月18日(金)～12月25日(金)
試験日	令和9年1月31日(日)
合格発表	令和9年2月8日(月)

入試に関する
お問合せ

教育・学生支援部 教育推進課

〒910-1195
福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1
TEL 0776-61-6000(代) FAX 0776-61-6012
E-mail: kyouiiku@g.fpu.ac.jp
URL <https://www.fpu.ac.jp/>

大学院入試に関する詳細はウェブサイトをご確認ください。

[永平寺キャンパス]
福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

(バス)
京福バス福井駅西口バスターミナル大学病院線
「県立大学」下車(所要時間約40分)
(乗用車)
福井駅より約20分
北陸自動車道 福井北ICより約10分



公立大学法人
福井県立大学
Fukui Prefectural University

